

# 神戸電子専門学校 2019年度シラバス

## ■科目基本情報

科目名	3次元CADデザインⅡ	科目コード	7440
シラバスコード	197C6B-7440		
授業時数/週	2時間/週		
開講年次・学期	2年次 前期・後期		
必修/選択区分	必修		
担当教員	川口 信之		
教員の実務経験	実務経験のある教員による授業科目		
職業実践専門課程		連携企業等	
備考			

## ■科目詳細情報

授業概要	デザイン制作に必要な加工技法を各制作実習課題の制作へ活用するための応用的な技術を学び。制作テーマごとの製作演習を繰返し仕組みデザイン制作の精度を高めていく手法を身につける。
到達目標（前期）	家具（チェア）・文具（ステーブラー）をテーマに応用的な技術を活用し手行なう、試作品の製作（改善含む）を行う技術や、試作を繰返すことでデザイン制作の精度を高める手法を習得する。
到達目標（後期）	インテリア製品（照明器具）・雑貨製品（時計キット）をテーマに応用的な技術を活用し手行なう、試作品の製作（改善含む）を行う技術や、試作を繰返すことでデザイン制作の精度を高める手法を習得する。
授業方法	演習・実習を通し各種加工技法を各課題制作活用する手法を学ぶ。
実践的教育の内容	3次元CADを活用したデザイン開発において、「考察」「設計」「試作」「検証」「使用」「振返」そしてまた「考察」というサイクルを繰返しおこないことで、制作の精度を上げていき完成度を高めていく。
評価方法（前期）	各課題 加工データの仕上がり 40%、各課題 製作物の仕上がり 40% 製作レポート 20%
評価方法（後期）	各課題 加工データの仕上がり 40%、各課題 製作物の仕上がり 40% 製作レポート 20%
授業外における学修	特になし
授業計画（前期）	第1週 シナ合板を素材とした チェア 加工仕様の考察
	第2週 シナ合板を素材とした チェア CADによる設計
	第3週 シナ合板を素材とした チェア 試作加工
	第4週 シナ合板を素材とした チェア 検証・振返
	第5週 シナ合板を素材とした チェア 改善 加工仕様の考察
	第6週 シナ合板を素材とした チェア 改善 CADによる設計
	第7週 シナ合板を素材とした チェア 改善 試作加工
	第8週 シナ合板を素材とした チェア 改善 検証・振返
	第9週 各種素材を組み合わせ制作する ステーブラー 加工仕様の考察
	第10週 各種素材を組み合わせ制作する ステーブラー CADによる設計
	第11週 各種素材を組み合わせ制作する ステーブラー 試作加工
	第12週 各種素材を組み合わせ制作する ステーブラー 検証・振返
	第13週 各種素材を組み合わせ制作する ステーブラー 改善 加工仕様の考察
	第14週 各種素材を組み合わせ制作する ステーブラー 改善 CADによる設計
	第15週 各種素材を組み合わせ制作する ステーブラー 改善 試作加工
	第16週 各種素材を組み合わせ制作する ステーブラー 改善 検証・振返
	第17週 制作レポート作成

神戸電子専門学校 2019年度シラバス

授業計画（後期）	第18週	各種素材を組み合わせ制作する 加工仕様の考察	照明器具	
	第19週	各種素材を組み合わせ制作する CADによる設計	照明器具	
	第20週	各種素材を組み合わせ制作する 試作加工	照明器具	
	第21週	各種素材を組み合わせ制作する 検証・振返	照明器具	
	第22週	各種素材を組み合わせ制作する 加工仕様の考察	照明器具	改善
	第23週	各種素材を組み合わせ制作する CADによる設計	照明器具	改善
	第24週	各種素材を組み合わせ制作する 試作加工	照明器具	改善
	第25週	各種素材を組み合わせ制作する 検証・振返	照明器具	改善
	第26週	木材を素材とした 加工仕様の考察	時計キット	
	第27週	木材を素材とした CADによる設計	時計キット	
	第28週	木材を素材とした 試作加工	時計キット	
	第29週	木材を素材とした 検証・振返	時計キット	
	第30週	木材を素材とした 加工仕様の考察	時計キット	改善
	第31週	木材を素材とした CADによる設計	時計キット	改善
	第32週	木材を素材とした 試作加工	時計キット	改善
	第33週	木材を素材とした 検証・振返	時計キット	改善
	第34週	制作レポート作成		
教科書・教材	なし			
参考文献・資料	特になし			
履修上の留意点	特になし			